

市民が進めるユニークな「地方創生」

構想日本と自治体が進めている住民目線の総合戦略とは....



三木町総合戦略策定委員会の様子

「地方創生」は安倍政権の国内政策の目玉です。それを進めるための設計図が「総合戦略」。

構想日本は茨城県行方(なめがた)市、千葉県富津(ふつつ)市、香川県三木町の3市町でこの「総合戦略」作成の協力をしています。多くの自治体がコンサルタントに丸投げしている中で、構想日本は、①自治体職員が自分で考えること、②住民が議論に実質的に参加することで住民が地方創生の主役になることを重視して行っています。

① 現状の把握

- ・ 行政が現在行っている事業の現状と課題を外部の人の視点を活用して整理。
- ・ これまで 200 回以上実施している事業仕分けの手法を活用。

② 住民主体の議論

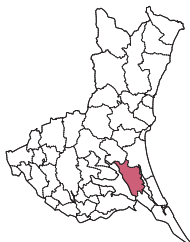
- ・ 現状把握によって見えてくる課題について「個人」「地域」「行政」としてどのような解決策があるかを住民同士で議論。
- ・ 議論に参加する住民は、無作為抽出によって選出

③ 総合戦略の策定

- ・ 住民の議論を踏まえて、職員が戦略を作成する。(コンサルに丸投げはしない)
- ・ 行政が素案を作成し、住民に説明するという従来型の進め方ではなく、素案をつくるプロセスから住民が参加することで、住民にとって地域がさらに「自分事」となる。

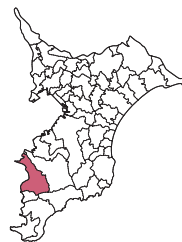
茨城県行方市

- ・ スローガンは「継続から変革への道」
- ・ 「事業レビュー」(事業仕分け)で作った現状と課題の整理に基づいて「100人委員会」で戦略を作成する。



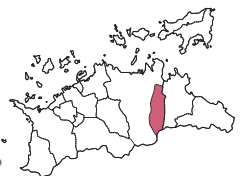
千葉県富津市

- ・ 基本コンセプトは「オープンガバメント」(市民との情報共有)
- ・ 行革としての事業仕分けを実施。その結果を踏まえて「市民委員会」で議論。



香川県三木町

- ・ 子育て世代への支援策「いきいきタウン構想」を柱とする。
- ・ 無作為抽出による住民と、企業役員や元市長など多彩な有識者との合同会議によって作成。



全国の「市民判定人」経験者にアンケートを実施

アンケート結果から分かった参加住民の特徴

1. 日常は役所との接点が少ない
2. しかし、投票や自治会加入など社会的な関心は高い
3. 自助、共助の意識がきわめて高い

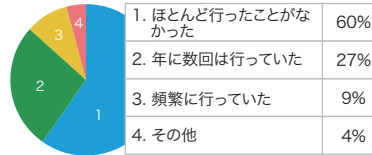


無作為抽出による住民参加は、潜在的に意識の高い市民を巻き込む優れた手法

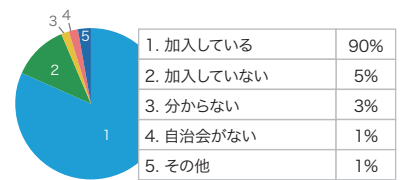
最近2年間の事業仕分けの市民判定人経験者に、地域行政や自治会/町内会等への関心や問題意識などについてのアンケートを実施しました。地域行政を「自分事」として捉えている方が非常に多いことが分かりました。今後、より多くの住民が地域行政や自治に関わってもらえることが期待できます!! アンケート結果詳細は構想日本HPに掲載しています。

※ 対象、2013～2014年度に市民判定人方式の事業仕分けを行った全国12自治体の市民判定人経験者約1100名(回答率、52%)

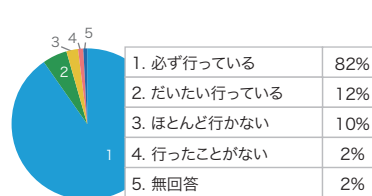
① あなたは事業仕分けに参加する以前に、お住まいの都道府県、市町村などの役所と、どの程度の関わりがありましたか?



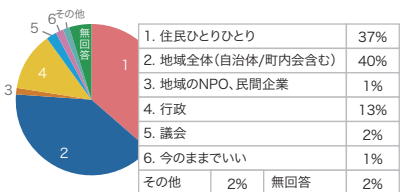
② あなたは国会議員、地方議員、知事、市町村長の選挙の投票に行きますか?



③ お住まいの地域の自治会/町内会に加入していますか?



④ お住まいの地域をより住みやすいものにするために、特に誰が主体的に行動する必要がありますか?



最近のJlフォーラムのご報告



第213回 老・病・死を考える

6月25日(木)

ゲスト

佐藤 伸彦(ものがたり診療所所長)
対本 宗訓(僧医、リンデンクリニック院長)

コーディネーター

加藤 秀樹(構想日本代表)

第212回

5月28日(木)

ゲスト

岡田 豊(みずほ総合研究所主任研究員)
木下 富美子(北海道江差町顧問、地方創生人材支援制度による民間からの派遣)

コーディネーター

加藤 秀樹(構想日本代表)

第211回

4月23日(木)

ゲスト

『暴力・虐待』とどう向き合うのか
～少年の殺人や子どもの虐待を繰り返さないために～

玄 秀盛(公益社団法人日本駆け込み寺代表)
後藤 啓二(NPO法人シンクキッズ代表幹事)

コーディネーター

加藤 秀樹(構想日本代表)

構想日本の動き

2015.04 ~ 2015.06

新聞・テレビ等メディア掲載：8件 自治体(職員、議員)との動き：34件 大学・学生との動き：2件 その他：2件

主なもの

<新聞・テレビ等メディア掲載>

- 2015/4/3 自治日報
J.I.フォーラム「自分事」の選挙へ議論
- 2015/5/17 朝日新聞
5・17大阪の選択 「都構想」住民投票きょう投票開票制度と運用を両輪に 「構想日本」代表の加藤秀樹さん
- 2015/6/1 MEDICAL QOL2015年6月号
[レポート] 運営休止から再出発した 銚子市立病院の現在カギとなる「ミニマムな役割」への住民の期待
- 2015/6/18 朝日新聞
三木町が「総合戦略策定委」立ち上げ 町民代表と有識者 人口減社会へ対応 町の魅力探し10月に決定 住民の期待

<大学・学生との動き>

- 2015/4月～隔週月曜日 国立大学法人京都大学経済学部「公共経営論1」講義 (代表 加藤秀樹)

<その他>

- 2015/5/16～17, 6/20 「現場みらい塾 第2期」(主催: 構想日本、PHP総研)

<自治体(職員、議員)との動き>

- 2015/4/15 行方市「行方市まち・ひと・しごと創生本部」(総括ディレクター 伊藤伸、政策スタッフ 山本記子)
- 2015/04/30, 5/24, 6/27 三木町「百眼百考会議」(総括ディレクター 伊藤伸、政策スタッフ 原田将大)
- 2015/5/27, 6/18 富津市「富津市創生会議」(総括ディレクター 伊藤伸、政策スタッフ 原田将大)
- 2015/6/4 三重県「平成27年度第1回三重県経営戦略会議」(代表 加藤秀樹)

会員募集

構想日本は会員からの会費だけで運営しています。日本をもっと素敵な国にしたいと思っている貴方、是非会員になって構想日本の活動を支援してください。詳しくは...

TEL 03-5275-5607
www.kosonippon.org/info

及び同封の葉書・振込用紙をご覧ください。振込用紙は現在会員である方にも送付しています。